

東日本大震災からの復興

～これまでの9年間と今後の取り組み～

宮古市東日本大震災復興計画 計画期間 平成23年度～令和元年度(9年間)

平成23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
復旧期			再生期			発展期		



みやこ市民劇第2回公演「鎌ヶ崎エレジー 激闘！宮古港海戦」の様子(令和2年2月)



令和2年3月 岩手県宮古市

東日本大震災からの復興

～これまでの9年間と今後の取り組み～

目次

1. はじめに	02
2. 東日本大震災から9年間の道のり	03
3. 宮古市東日本大震災復興計画 3つの柱それぞれの取り組み	
(1) すまいと暮らしの再建	07
(2) 産業・経済復興	10
(3) 安全な地域づくり	13
4. 発展期の取り組み	
中心市街地拠点施設・ フェリー航路・鉄道の復旧と新駅	16
三陸ジオパーク・スマートコミュニティ	17
道路交通網	18
5. おもな復興事業の現況	19

東日本大震災の概要

■地震と津波の状況 (気象庁発表)

- (1)地震発生日時 平成23年3月11日(金) 午後2時46分頃
- (2)震源地 三陸沖北緯38度6.2分、東経142度51.6分、牡鹿半島の東南東約130km付近
- (3)震源の深さ 約24km
- (4)地震の規模 マグニチュード9.0 (平成23年3月13日気象庁発表)
- (5)震度 震度5強/茂市、震度5弱/五月町、鎌ヶ崎、長沢、田老、川井、門馬田代
- (6)津波の最大波 平成23年3月11日(金)午後3時26分 8.5m以上

■被害の状況

- (1)人的被害 死者517人(うち行方不明者94人)
- (2)住家被害 4,449棟(全壊2,677棟、大規模半壊688棟、半壊640棟、一部損壊444棟)
- (3)非住家被害 4,639棟(全壊3,291棟、大規模半壊647棟、半壊534棟、一部損壊167棟)
- (4)被害推計額 総額2,457億円 ※国・県の施設、鉄道、電信電話、電気事業者関係等の被害を除く
(主な被害推計額/住宅1,496億円、商工労働関係施設281億円、水産関係施設215億円、漁港施設150億円)
- (5)被災世帯 4,582世帯、11,979人 ※被災世帯数は罹災程度が半壊以上、発災時数値



「宮古市は必ずや復興いたします。」

東日本大震災後、この言葉を常に胸に刻み、市民の皆様呼びかけ、9年が経過いたしました。思いを共有する市民の皆様、また全国の皆様から多大なご支援とご協力いただき、この強い思いを貫いてこられましたことに、心より感謝申し上げます。

平成23年度から9年間にわたり、宮古市東日本大震災復興計画に掲げた3つの復興の柱、「すまいと暮らしの再建」、「産業・経済復興」、「安全な地域づくり」に全力で取り組んでまいりました。

本計画は令和元年度をもって期間を満了いたします。

今後は、被災者の生活支援、心のケア、防災・減災対策、震災の記憶の伝承などに継続して取り組みながら、震災以降築き上げてきたまちづくりの土台を礎に、さらなる発展を目指してまいります。

「すまいと暮らしの再建」につきましては、市内全域で災害公営住宅及び宅地の整備が完了しております。今後もすべての被災者の暮らしの安定に向け、一人ひとりに寄り添った支援をしてまいります。

「産業・経済復興」につきましては、令和2年度はいよいよ三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路、主要地方道重茂半島線が全線開通します。新しい人と物の流れを活かし、観光振興など経済発展に取り組んでまいります。

「安全な地域づくり」につきましては、令和2年1月に津波遺構「たろう観光ホテル」にエレベーター棟が完成いたしました。引き続き、震災伝承の取り組みを進めてまいります。また、防潮堤などの海岸保全施設の整備について、関係機関と連携して取り組んでまいります。

令和2年度は、岩手県で過去最大となる大型外航クルーズ船「コスタ ベネチア」が8月に寄港することをはじめ、多くのクルーズ船の寄港が予定されています。さらに、夏の「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」では、シンガポール、ナミビアのホストタウンとしてお客様をお迎えするなど、これまで以上に宮古市と世界が繋がる機会を得ることとなります。

この機会に、これまでの復興の取り組みの成果を発信し、未来を切り開くまちづくりを行う「宮古創生 攻めの一年」として、さらなる産業振興や地域活性化の取り組みを強化してまいります。

活気と笑顔があふれる『「森・川・海」とひとが調和し共生する安らぎのまち』の実現のため、これからも市民の皆様と共に邁進してまいります。

令和2年3月

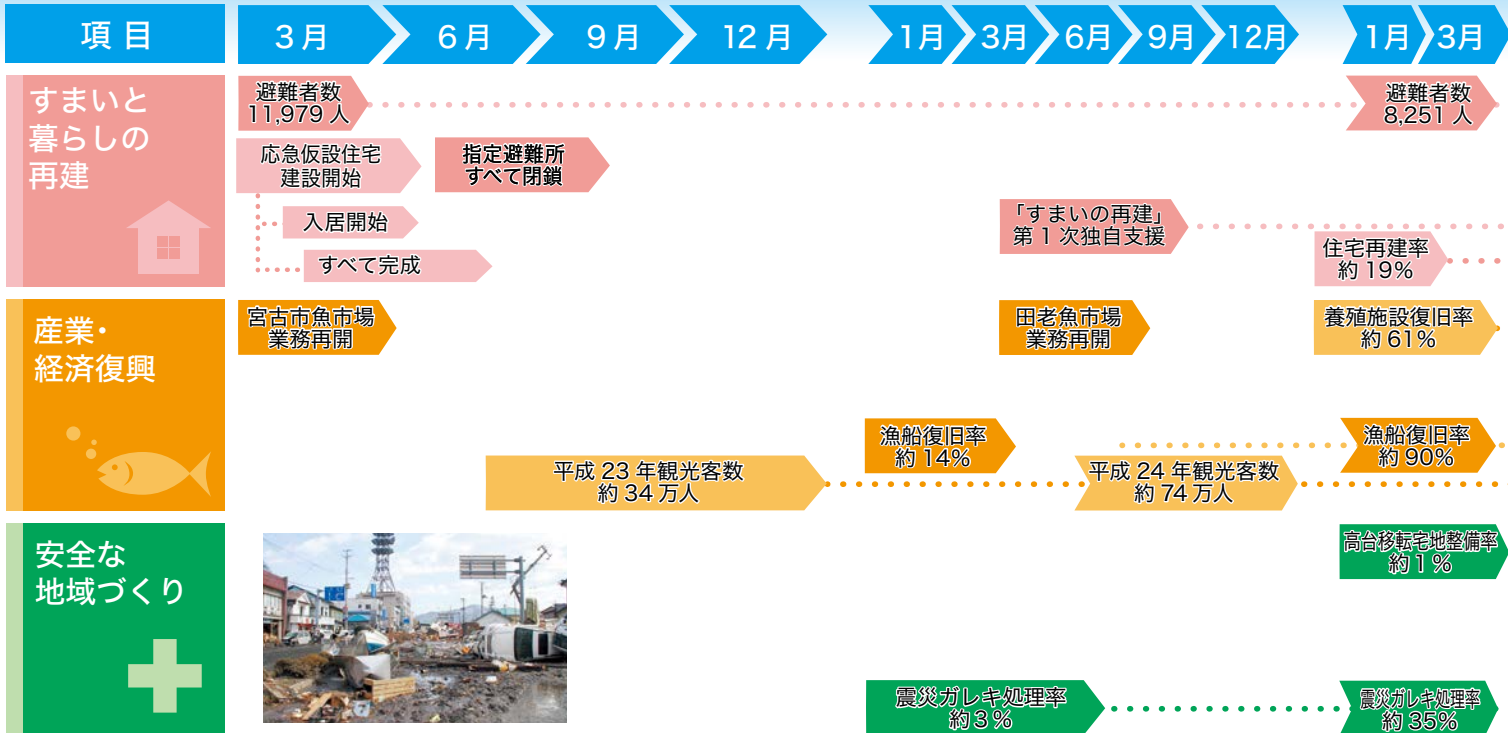
宮古市長 山本 正徳

2 東日本大震災から9年間の道のり

2011年(平成23年)

2012年(平成24年)

2013年



2011(平成23年)

災害公営住宅建設予定を公表(5月1日)
安倍晋三首相が根本匠復興相とともに宮古市を視察(4月6日)
浦の沢・追切地区漁業集落防災機能強化事業による宅地(2戸)が完成(3月)
宮古市東日本大震災二周年追悼式を挙(3月11日)

野田佳彦首相が宮古市を視察(10月27日)
宮古市災害対策本部を廃止(宮古市災害対策本部会議を78回開催(8月31日))
第一回「被災者のための住まいの相談会」を実施(7月28日)
宮古市役所本庁舎1階フロアが復旧(7月2日)
県が復旧・復興ロードマップ(総括工程表)を発表(6月11日)
平野達男復興相が宮古市を視察(5月23日)
被災住宅の再建支援の補助事業を開始(5月)
震災がれきの仮設焼却炉が稼働(4月)
東日本大震災地区復興まちづくり計画を策定(3月30日)
宮古市東日本大震災復興計画(推進計画)を策定(3月30日)
宮古盛岡横断道路「藤原―松山間」の中心杭設置式を実施(3月25日)
宮古市東日本大震災一周年追悼式を挙(3月11日)
宮古市東日本大震災復興基本法が成立(6月20日)
東日本大震災復興基本法が成立(6月20日)
宮古市震災復興基本方針を策定(7月29日)
国が東日本大震災復興基本方針を策定(7月29日)
指定避難所を全て閉鎖(最大時85箇所、8,889人が避難)(8月10日)
県が岩手県東日本大震災津波復興計画復興基本計画を策定(8月11日)
グリーンピア三陸みやこ敷地内に共同仮設店舗「たろちゃんハウス」がオープン(9月25日)
三陸沿岸道路「松山―田老間」の中心杭設置式を実施(12月23日)
東日本大震災復興特別区域法が成立(12月7日)
宮古市東日本大震災復興計画(基本計画)を策定(10月31日)
グリーンピア三陸みやこ敷地内に共同仮設店舗「たろちゃんハウス」がオープン(9月25日)

2012(平成24年)

宮古市東日本大震災復興基本法が成立(6月20日)
東日本大震災復興基本法が成立(6月20日)
宮古市震災復興基本方針を策定(7月29日)
国が東日本大震災復興基本方針を策定(7月29日)
指定避難所を全て閉鎖(最大時85箇所、8,889人が避難)(8月10日)
県が岩手県東日本大震災津波復興計画復興基本計画を策定(8月11日)
グリーンピア三陸みやこ敷地内に共同仮設店舗「たろちゃんハウス」がオープン(9月25日)
三陸沿岸道路「松山―田老間」の中心杭設置式を実施(12月23日)
東日本大震災復興特別区域法が成立(12月7日)
宮古市東日本大震災復興計画(基本計画)を策定(10月31日)
グリーンピア三陸みやこ敷地内に共同仮設店舗「たろちゃんハウス」がオープン(9月25日)

2013(平成25年)

宮古市東日本大震災復興基本法が成立(6月20日)
東日本大震災復興基本法が成立(6月20日)
宮古市震災復興基本方針を策定(7月29日)
国が東日本大震災復興基本方針を策定(7月29日)
指定避難所を全て閉鎖(最大時85箇所、8,889人が避難)(8月10日)
県が岩手県東日本大震災津波復興計画復興基本計画を策定(8月11日)
グリーンピア三陸みやこ敷地内に共同仮設店舗「たろちゃんハウス」がオープン(9月25日)
三陸沿岸道路「松山―田老間」の中心杭設置式を実施(12月23日)
東日本大震災復興特別区域法が成立(12月7日)
宮古市東日本大震災復興計画(基本計画)を策定(10月31日)
グリーンピア三陸みやこ敷地内に共同仮設店舗「たろちゃんハウス」がオープン(9月25日)



(平成 25 年)

2014 年(平成 26 年)

2015 年(平成 27 年)

6月 9月 12月

1月 3月 6月 9月 12月

1月 3月 6月

避難者数
6,174 人

避難者数
4,518 人

災害公営住宅整備
約 5%

災害公営住宅整備
約 33%

「すまいの再建」
第 2 次独自支援

「すまいの再建」
第 3 次独自支援

住宅再建率
約 45%

住宅再建率
約 60%

養殖施設復旧率
約 99%

水産加工施設再開率
約 40%

養殖施設復旧率
100%

水産加工施設再開率
約 50%

漁港復旧率
約 17%

漁港復旧率
約 39%

漁船復旧率
約 99%

平成 25 年観光客数
約 111 万人

平成 26 年観光客数
約 123 万人

高台移転宅地整備率
約 10%

高台移転宅地整備率
約 32%

震災ガレキ処理率
100%

スマートコミュニティ
カーシェアリング
事業開始

2014(平成26年)

- 千鶏地区漁業集落防災機能強化事業による宅地(3戸)が完成(12月)
- たるう観光ホテル等の震災遺構保存への支援を復興庁が発表(11月15日)
- 宮古盛岡横断道路「根市」箱石間」の中心杭設置式を実施(11月8日)
- 崎山地区防災集団移転促進事業による宅地(6戸)が完成(10月)
- 三陸ジオパークが日本ジオパークに認定(9月24日)
- コミュニティFM「みやこハーバラジオ」が開局(8月26日)
- 宮古市広域総合交流促進施設「シートピアなあと」が復旧し、供用を再開(7月6日)
- 摂待地区漁業集落防災機能強化事業による宅地(3戸)が完成(7月)
- 三陸復興国立公園が創設(5月24日)
- 宮古市民文化会館が復旧し、式典と市民による舞台芸術発表を開催(12月21日)
- 赤前災害住宅の入居を開始(12月)
- 宮古市中心市街地拠点施設整備事業基本構想を策定(11月14日)
- 音部地区漁業集落防災機能強化事業による宅地(3戸)が完成(7月)
- 石浜地区漁業集落防災機能強化事業による宅地(2戸)が完成(7月)
- リアスハーバー宮古が復旧し、供用を再開(5月29日)
- 環境省整備の震災メモリアルパーク中の浜がオープン(5月24日)
- 高浜災害住宅、近内災害住宅1号棟の入居を開始(5月)
- 三陸鉄道北リアス線「小本」田野畑間」の運転再開により、全線運転再開(4月6日)
- 震災による災害廃棄物の処理が完了(3月31日)
- 宮古市東日本大震災三周年追悼式を挙(3月11日)
- 堀内地区漁業集落防災機能強化事業による宅地(2戸)が完成(3月)
- 法の協地区防災集団移転促進事業による宅地(12戸)が完成(3月)
- 田老地区三王団地の現場見学会を開催(2月2日)
- 災害公営住宅の入居者募集を開始(1月15日)

2015(平成27年)

- 宮古市応急仮設住宅撤去・集約化計画を策定(7月1日)
- 実田災害住宅の入居を開始(7月)
- 宮古市新市10周年記念式典を挙(6月14日)
- 高浜・金浜地区防災集団移転促進事業による宅地(40戸)が完成(6月)
- 日の出町災害住宅の入居を開始(6月)
- 西ヶ丘災害住宅の入居を開始(5月)
- 宮古港開港400周年記念開港時代行列・記念式典を挙(4月24日)
- 和見町災害住宅、近内災害住宅2号棟、崎山災害住宅、磯鶏災害住宅の入居を開始(4月)
- 宮古市中心市街地拠点施設整備事業基本計画を策定(3月25日)
- 宮古市東日本大震災四周年追悼式を挙(3月11日)
- 川崎近海汽船(株)がフェリー「新航路」宮古-室蘭開設の検討を開始(3月10日)
- JR山田線「宮古」釜石間」の復旧工事の着工式を実施(3月7日)
- 佐原第2災害住宅、宮町災害住宅の入居を開始(3月)
- 重茂地区漁業集落防災機能強化事業による宅地(17戸)が完成(3月)
- JR山田線「宮古」釜石間」の復旧及び三陸鉄道への移管について、関係自治体、三陸鉄道及びJR東日本が基本合意(2月6日)
- 竹下巨復興相が宮古市を視察(1月22日)
- 赤前地区防災集団移転促進事業による宅地(46戸)が完成(1月)



2015年(平成27年)

9月 12月

2016年(平成28年)

1月 3月 6月 9月 12月

2017年(平成29年)

1月 3月 6月 9月

避難者数
2,058人

災害公営住宅整備
約97%

「すまいの再建」
第4次独自支援

住宅再建率
約83%

水産加工施設再開率
約80%

漁港復旧率
約67%

漁船復旧率
100%

平成27年観光客数
約122万人

高台移転宅整備率
100%

区画整理による宅地整備
田老地区100%

スマートコミュニティ
津軽石及び田老地区
メガソーラー完成

スマートコミュニティ
地産電力(津軽石発電所)
供給開始

スマートコミュニティ
電気自動車用の
急速充電サービス開始

避難者数
679人

災害公営住宅整備
100%

住宅再建率
約94%

水産加工施設再開率
100%

漁港復旧率
約83%

平成28年観光客数
約112万人

2017(平成29年)

2015(平成27年)

2016(平成28年)

重茂災害住宅、西町災害住宅、上鼻災害住宅の入居を開始(8月)

田老地区防災集団移転促進事業による宅地(159戸)が完成(9月)

黒田町災害住宅の入居を開始(9月)

津軽石災害住宅、鴨崎災害住宅の入居を開始(10月)

田老三王災害住宅1、3、5、6号棟、金浜災害住宅の入居を開始(11月)

田老まちびらき記念式を挙(11月22日)

高木毅復興相が宮古市を視察(11月22日)

本町災害住宅、八木沢災害住宅の入居を開始(12月)

JR山田線「平津戸ー松草間」を走行中の列車が土砂に乗り上げ脱線(12月11日)

港町災害住宅の入居を開始(1月)

国土交通省が田老地区中心部に移転する道の駅たるうを「重忠道の駅」に選定(1月27日)

川崎近海汽船(株)がフェリー新航路「宮古ー室蘭」開設を正式決定(3月7日)

市議会で、事務所(市役所)の位置を定める条例改正案が可決(2月1日)

宮古市東日本大震災五周年追悼式を挙(3月11日)

田老三王災害住宅4、7、10号棟、磯鶏上村災害住宅の入居を開始(4月)

津波遺構「たるう観光ホテル」の保存整備工事が完了し、一般公開を開始(4月1日)

津軽石地区中心部に集約した公共施設の合同開所式を挙(4月20日)

田老野球場が移転復旧し、供用を再開(4月22日)

震災の記憶を伝える「学ぶ防災 ツアー」利用者が10万人に達し、記念セミナーを開催(5月14日)

皇太子ご夫妻が岩手県沿岸被災地視察として本市をご訪問(6月20、21日)

崎山貝塚縄文の森公園複合施設がオープン(7月16日)

黒石市・宮古市姉妹都市締結50周年記念祝賀会を挙(7月30日)

田老地区中心部に移転した道の駅たるうが一部営業を開始(7月31日)

田老診療所が三王団地に移転復旧し、供用を再開(8月2日)

台風10号の大雨で、道路の決壊や橋の流失、住宅地への浸水、土砂崩れなどが発生(8月30日)

今村雅弘復興相が宮古市を視察(9月15日)

第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」のセーリング及びレスリング競技会を開催(10月2、10日)

中心市街地拠点施設建設工事安全祈願祭を挙(11月4日)

多良間村・宮古市姉妹市村締結20周年記念祝賀会を挙(1月12日)

山口災害住宅の入居を開始(市内整備25団地766戸すべて完成)(2月)

宮古市東日本大震災六周年追悼式を挙(3月11日)

安倍晋三首相が宮古市を視察(3月12日)

欽ヶ崎地区に整備したラウンドアバウト(環状交差点)の供用を開始(3月12日)

宮古市魚市場増築棟の落成式を挙(4月23日)

吉野正芳復興相が宮古市を視察(5月1日)

復旧した宮古運動公園の落成式を挙(7月12日)

川崎近海汽船(株)がフェリー新航路「宮古ー室蘭」の営業開始日平成30年6月22日を発表(9月1日)

道の駅たるうに産直・交流施設「とれたるう」がオープン(9月23日)

欽ヶ崎・光岸地まちびらき記念式を挙(10月28日)



2018年(平成30年)

2019年(平成31年・令和元年)

2020年(令和2年)

12月

1月 3月 6月 9月 12月

1月 3月 6月 9月 12月

1月 3月

避難者数
65人

避難者数
35人

避難者数
27人

住宅再建率
約99%

漁港復旧率
100%

平成29年観光客数
約113万人

平成30年観光客数
約143万人

令和元年観光客数
約189万人

区画整理による宅地整備
鎌ヶ崎・光岸地地区 100%

2018(平成30年)

2019(平成31年・令和元年)

2020(令和2年)

中心市街地拠点施設及び自由通路の愛称が「イーストピアみやこ」及び「クロスデッキ」に決定(12月21日)
三陸沿岸道路「山田IC-宮古南IC間」が供用を開始(震災後に事業着手した復興道路・復興支援道路としては初の開通区間)(11月19日)
平成27年12月の脱線事故のため運転を見合わせていたJR山田線「土米内-川内間」が復旧し運転を再開(11月5日)

一般国道340号「立丸峠工区」(復興支援道路)が全線開通(11月29日)
渡辺博道復興相が宮古市を視察(10月18日)
イーストピアみやこ供用開始(10月1日)
宮古市役所開庁式、宮古駅南北自由通路・クロスデッキ開通式(10月1日)
宮古市役所閉庁式(9月28日)
イーストピアみやこ落成記念式典(9月2日)
コミュニティFM「みやこハーバーラジオ」が開局五周年(8月26日)
川崎近海汽船がフェリー新航路「宮古-室蘭」の営業を開始(6月22日)
東日本大震災や平成28年度台風10号豪雨被害を踏まえ、改訂した宮古市総合防災ハザードマップを全戸配布(5月1日)
道の駅たるうが全施設完成に伴いランドオープン(4月7日)
宮古市庁舎跡地整備事業基本計画を策定(3月26日)
三陸沿岸道路「田老真崎海岸IC-岩泉龍泉洞IC間」が供用を開始(3月21日)
岩手県と合同で東日本大震災七周年追悼式を挙行(3月11日)

宮古盛岡横断道路「手代森IC-田の沢IC間」が供用を開始(12月8日)
市道北部環状線が全線開通(11月30日)
台風19号の大雨で、道路の決壊や住宅地への浸水、土砂崩れなどが発生(10月12日)
田中和徳復興相が宮古市を視察(9月26日)
渡辺博道復興相が宮古市を視察(8月29日)
コミュニティFM「みやこハーバーラジオ」が開局6周年(8月26日)
三陸沿岸道路(宮古市-宮城県気仙沼市間)が全線開通(6月22日)
旧市役所本庁舎・分庁舎解体工事開始(6月21日)
天皇陛下即位に伴い、「平成」から「令和」へ改元(5月1日)
宮古盛岡横断道路「宮古中央IC-宮古根市IC間」が供用を開始(3月30日)
JR山田線「宮古-釜石間」が三陸鉄道リアス線として運行を開始(3月23日)
宮古市東日本大震災八周年追悼式を挙行(3月11日)
宮古工業高校による津波模型の取り組みが復興庁「新しい東北」復興・創生顕彰を受賞(2月17日)

宮古市東日本大震災九周年追悼式を挙行(3月11日)
津波遺構「たろう観光ホテル」のエレベーター棟が完成し、供用を開始(1月18日)



3 宮古市東日本大震災復興計画

3つの柱それぞれの取り組み

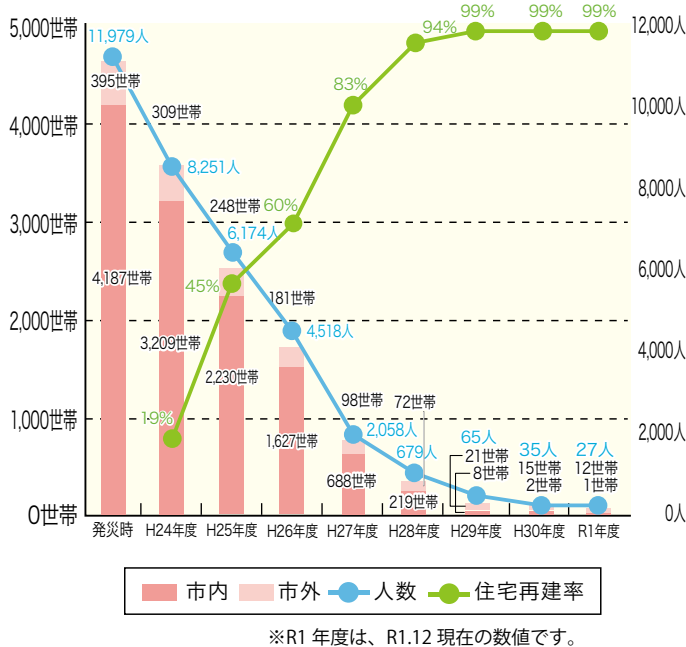
(1) すまいと暮らしの再建

被災者の再建支援

避難者について

災害公営住宅や宅地の整備が完了し、住まいの再建が進んでいます。今後も、一刻も早い住まいの再建に向け、支援を継続していきます。

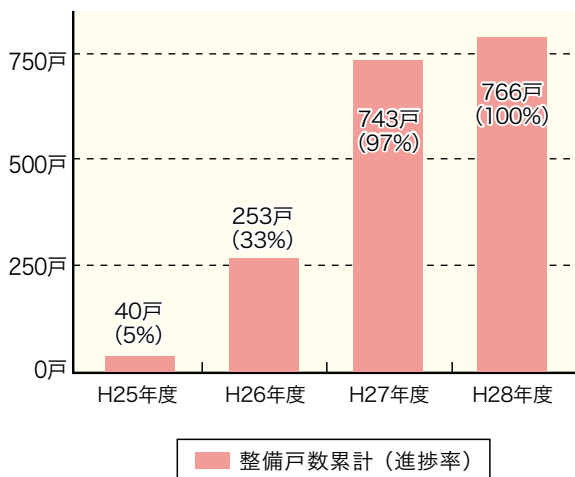
避難者の推移と住宅再建率(R1.12現在)



災害公営住宅の整備

計画した25団地766戸の災害公営住宅は、平成29年1月までにすべて完成しました。

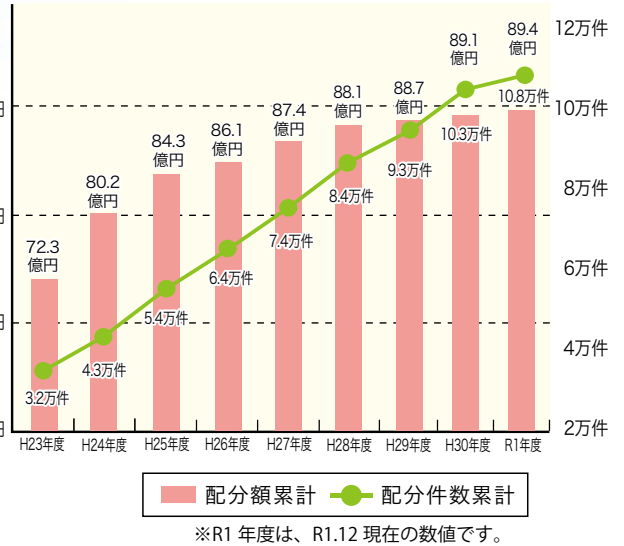
災害公営住宅整備事業の進捗状況



義援金の配分

令和元年12月までに、国、県及び市に寄せられた義援金約89億円を延べ21回交付しました。

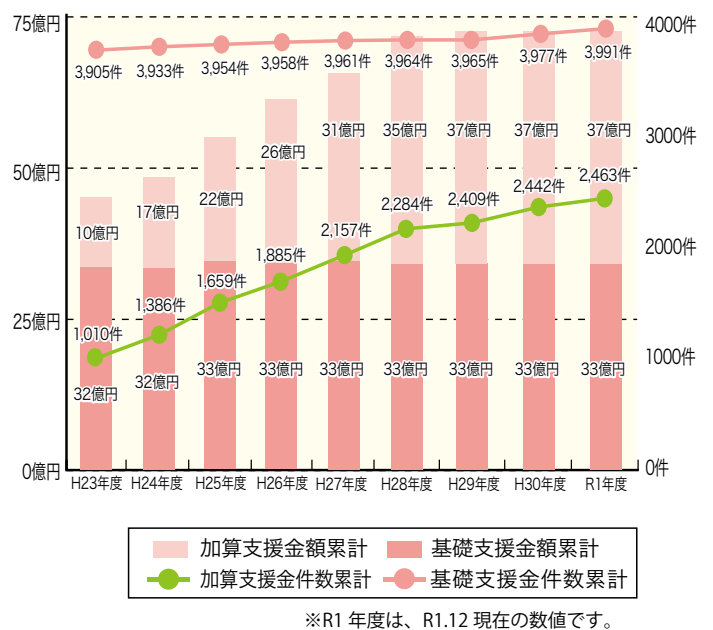
義援金の配分状況(R1.12現在)



支援金の交付

住宅の被害に応じて支給する基礎支援金及び住宅の再建方法に応じて支給する加算支援金を交付しています。令和元年12月までに、合わせて約70億円を交付しました。

支援金の交付状況(R1.12現在)



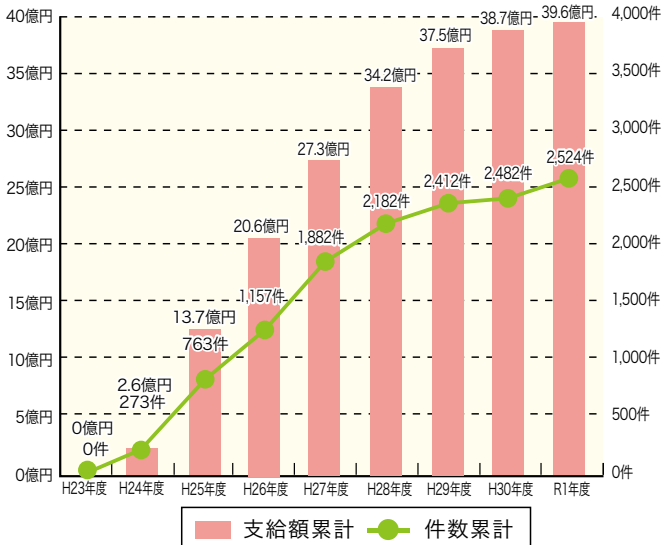
□「すまいの再建」への宮古市独自支援

被災者の住宅再建を支援するため、「すまいの再建促進事業」など6つの市独自支援により、これまで延べ2,524件、約39億6千万円を支給しました。

【6つの市独自支援策】

- 1 すまいの再建促進事業
- 2 浸水宅地等復旧支援事業
- 3 地域木材利用住宅推進事業
- 4 定住促進住宅建築利子補給事業
- 5 浄化槽再設置支援事業
- 6 被災者転居費用支援事業

「すまいの再建」独自支援の状況 (R1.12現在)

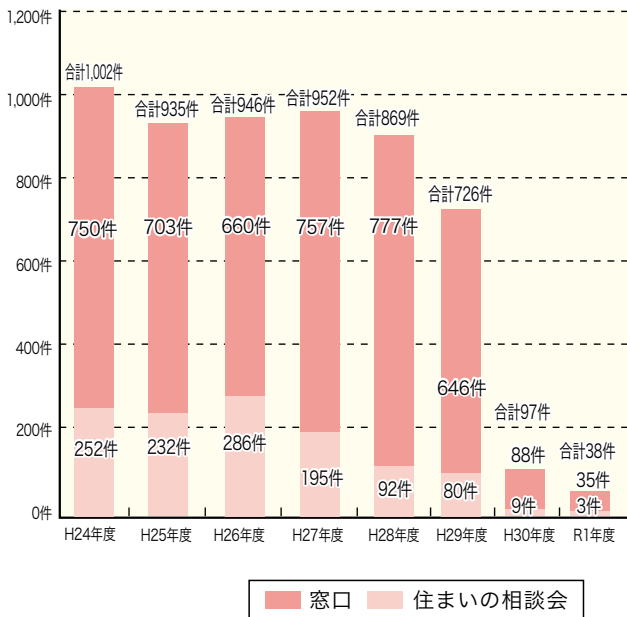


※R1年度は、R1.12現在の数値です。

□被災者生活相談事業等の状況

市環境生活課相談窓口で被災者の生活相談を行っています。また、定期的に「住まいの相談会」を実施しています。

被災者生活相談状況 (R1.12現在)



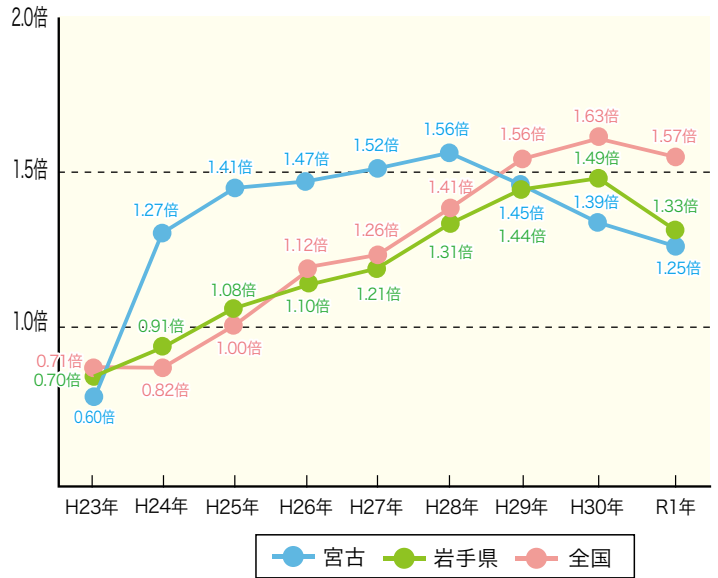
※R1年度は、R1.12現在の数値です。

■雇用の維持・確保

□有効求人倍率の推移

国の震災等緊急雇用創出事業は平成28年度に終了しましたが、継続して常用雇用への移行を支援するトライアル雇用奨励金、離職者の資格取得訓練費用を助成する離職者資格取得支援補助金や再就職支援セミナーの実施などの支援を行っています。

有効求人倍率の推移(各年11月現在)



■保健・医療の確保・充実

□健康維持・増進と心のケアのための取り組み

被災者の心身の健康維持・増進のため、これまでに延べ約1万9千世帯(うち、令和元年度は約120世帯(令和元年12月末現在))への訪問を実施しました。今後も引き続き、家庭訪問、健康相談等による支援を実施していきます。

□保健・医療施設の復旧

田老診療所は、平成28年8月に三王団地内に移転復旧しました。宮古保健センターは、市民総合体育館敷地内の仮設庁舎で業務を行っていましたが、平成30年10月に市役所新庁舎に移転復旧しました。



栄養運動教室の様子(令和元年11月)

■福祉の充実

□福祉支援の取り組み

被災者を対象に、障がい福祉サービス等の利用者負担の免除を実施しています。また、千鶏保育所の流失に伴い重茂児童館までの送迎バスの運行を行っています。

■学校教育環境の確保・充実

□児童・生徒の教育環境を整えるための取り組み

赤前・重茂小学校及び第二中学校校庭の応急仮設住宅は、平成29年2月にすべて撤去され、平成29年9月に校庭の復旧工事が完了しました。また、鉾ヶ崎小学校の校庭の応急仮設住宅は、平成30年7月に撤去され、10月に校庭の復旧工事が完了しました。

震災に伴う通学バスの運行は、仮設住宅から通学する児童生徒がいなくなったため、平成29年12月で終了しました。学用品費や給食費などの必要な援助等は引き続き行っています。



応急仮設住宅が撤去され復旧した重茂小グラウンド(令和元年8月)

□児童福祉施設の復旧

津軽石及び田老保育所は平成28年4月に移転復旧しました。



田老保育所の子どもたち

(令和元年6月)

■地域コミュニティの強化・再生

□新たなコミュニティづくりのための取り組み

再建先の地域コミュニティを再生し活動を充実させるため、地域自治組織の設立や加入促進に支援を行っています。



■生涯学習等施設の復旧と文化財の保存・継承

□社会教育施設の復旧

磯鶏公民館は平成24年8月、田老公民館は平成25年6月、津軽石及び鉾ヶ崎公民館は平成28年3月にそれぞれ復旧しました。また、消防団第11分団屯所を併設した高浜地区センターは、平成29年5月に復旧しました。堀内地区センターは平成30年6月に復旧し、供用を開始しました。

□文化財の保存・継承のための取り組み

復興事業に伴う埋蔵文化財発掘調査事業は、平成23年5月から実施し、調査対象69箇所すべての野外調査が完了しました。平成28年7月には、復興事業に伴う埋蔵文化財整理収蔵施設も併設した崎山貝塚縄文の森公園複合施設が完成し、資料整理及び発掘調査報告書の刊行作業を実施しています。

□文化施設の復旧

市民文化会館は平成26年12月に復旧し、芸術文化活動の中心拠点施設として大きな役割を果たすとともに、宮古市の復興のシンボルとなっています。



佐渡裕&スーパーキッズ・オーケストラ2019東日本大震災復興記念演奏活動「こころのビタミンプロジェクト in 宮古」の様子(令和元年8月)

□スポーツレクリエーション施設の復旧

藤の川海水浴場は平成25年3月、リアスハーバー浮橋は平成27年3月、田老野球場は平成28年3月にそれぞれ復旧しました。また、宮古運動公園は、平成29年7月に復旧工事を終え、供用を開始しています。



宮古運動公園陸上競技場で行われた、日本体育大学陸上競技部大村邦英総監督によるクリニックの様子(令和元年11月)

(2) 産業・経済復興

■ 農業の復興・再生

□ 農地・農業用施設の復旧

これまで、被災した農地・農業用施設を原形復旧工事やほ場整備などにより復旧してきました。平成29年8月に津軽石・赤前地区のほ場整備が完了し、耕作が再開されています。

□ 生産者の再建支援のための取り組み

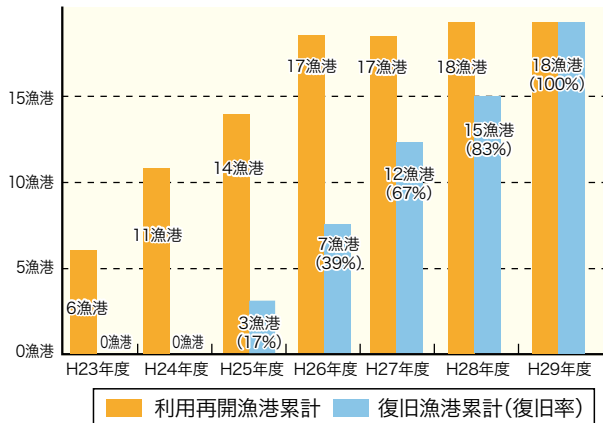
被災農地等の復旧作業を共同で行う取り組みへの助成事業を行っています。また、被災農業者に農業機械を貸与する事業を行っています。

■ 水産業の復興・再生

□ 漁港の復旧

被災した市内18漁港の防波堤等の復旧が平成29年度までに完了しました。

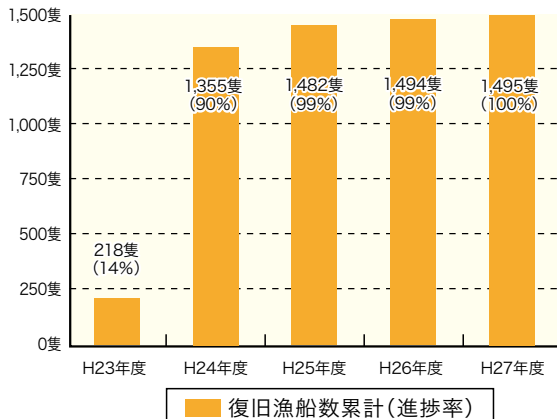
被災18漁港の状況



□ 共同利用漁船の復旧

漁業の要である漁船を共同利用漁船として復旧する事業を行い、平成27年度までに復旧希望の1,495隻すべてが復旧しました。

共同利用漁船の復旧状況

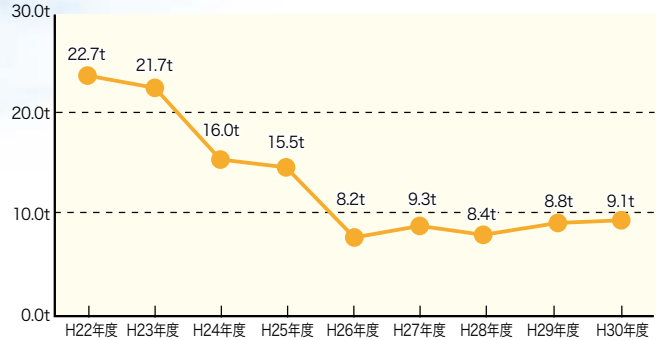


■ 林業の復興・再生

□ 生産施設等の復旧

しいたけの生産量は震災前に比べて減少しており、引き続き生産施設の導入を支援し生産量の回復に取り組みます。

しいたけの生産量の推移

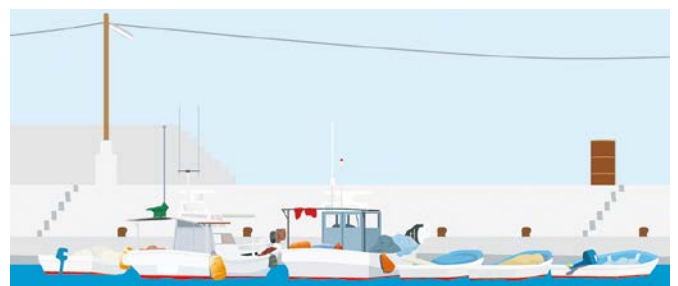
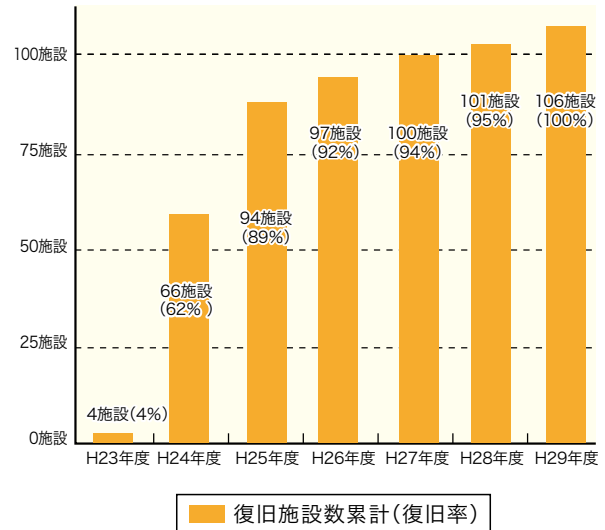


※宮古市しいたけ主産地化推進協議会調べ

□ 水産業共同利用施設の復旧

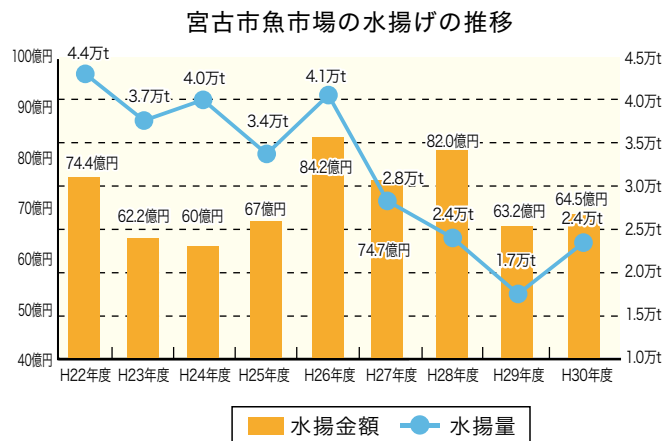
被災した冷凍冷蔵施設等の水産関連施設を共同利用施設として復旧する事業を行い、平成29年度までに復旧希望の106施設すべてが復旧しました。

水産業共同利用施設の復旧状況



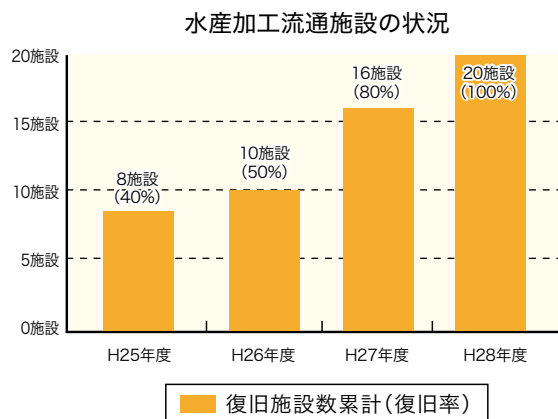
□宮古市魚市場の復旧

宮古市魚市場は、震災の1ヶ月後には仮復旧で業務を再開し、その後、平成24年度中に本復旧しました。また、平成27年度から2カ年にわたり行われた市場棟の増築等の工事が完了し、平成29年4月から供用を開始しています。



□水産加工流通業の復興のための取り組み

平成24年度に策定した「宮古市水産加工流通業復興計画」に基づき、水産加工流通施設の整備に対する補助事業を実施し、平成28年度までに再建希望の20施設全てが完成しました。



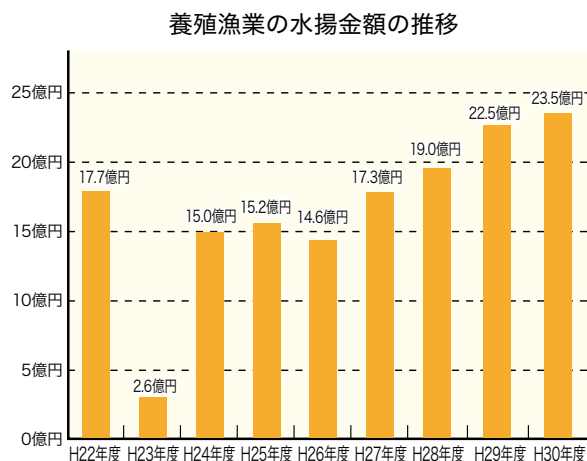
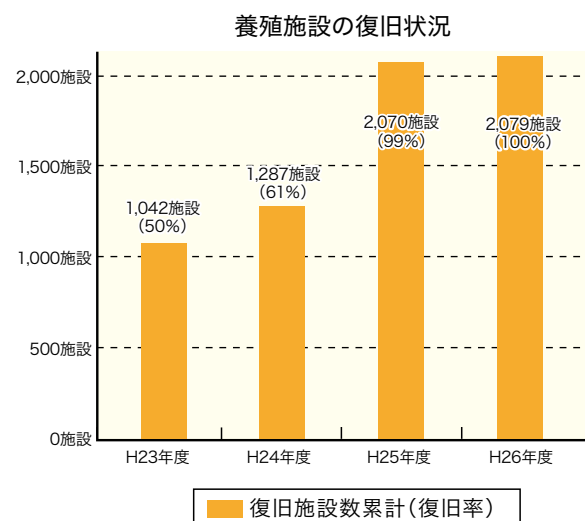
魚市場で行われるセリの様子

(令和元年9月)



□養殖施設の復旧

被災したワカメ、コンブ等の養殖施設を共同利用施設として復旧する事業を行い、平成26年度までに再開希望の2,079施設すべてが復旧しました。

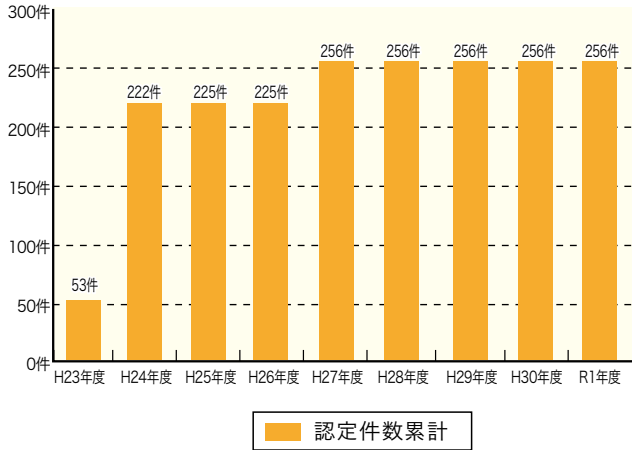


■商業の復興・再生

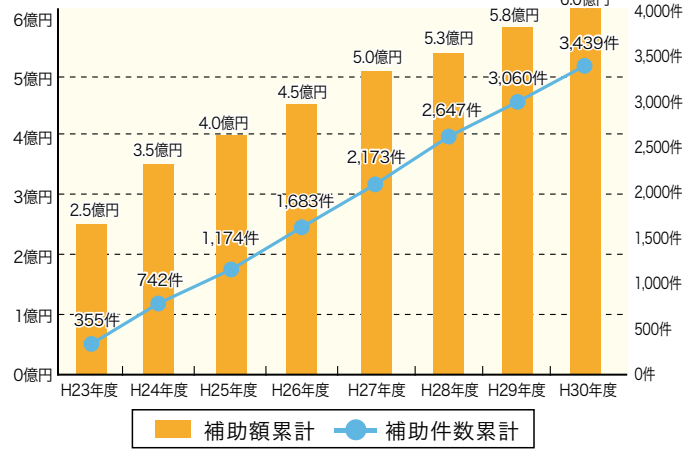
□事業再開のための取り組み

再建希望の被災事業者は、グループ補助金や復旧費補助金等により、ほぼ再建しています。

グループ補助金認定件数



震災復興中小企業者支援事業の状況

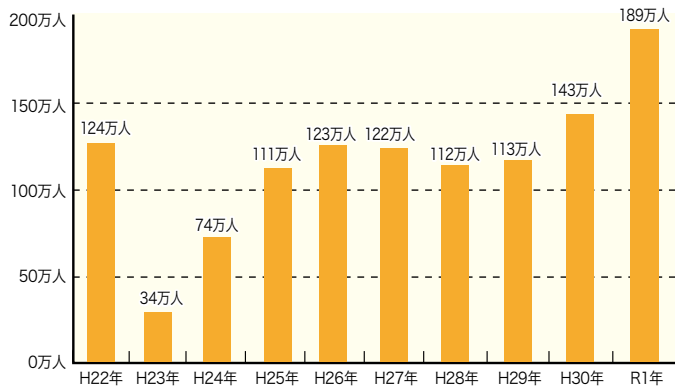


■観光の復興・再生

□観光施設の復旧と誘客のための取り組み

シートピアなどは平成25年7月に供用を再開、姉吉キャンプ場はデイキャンプ場として平成28年3月に復旧しました。また、震災による法面の崩落など危険個所の改修を行っていた浄土ヶ浜園地内道路は、平成28年度までに整備を完了しました。平成28年1月に「重点道の駅」に選定され、同年7月に仮オープンした道の駅たろうは、平成30年4月に本格オープンしました。

観光客の入込状況の推移

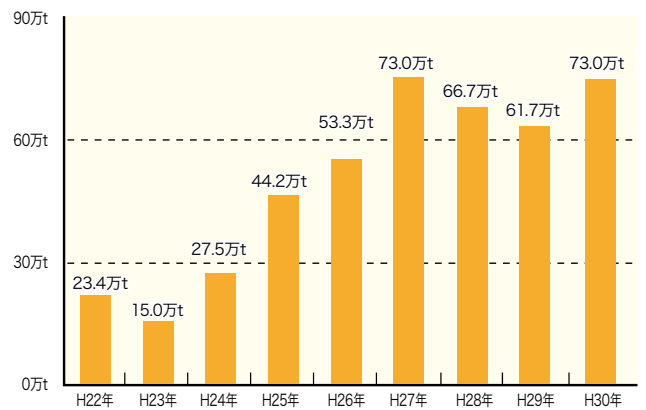


■港湾の復興・再生

□港湾の復興・再生のための取り組み

藤原ふ頭は、岸壁が平成26年3月に復旧し、工業用地海側には、防潮堤の整備が進められています。

宮古港貨物取扱量の推移



道の駅たろうで開かれたサッパ船市の様子 (令和元年9月)



(3) 安全な地域づくり

災害に強いまちづくりの推進

都市再生区画整理事業の進捗状況

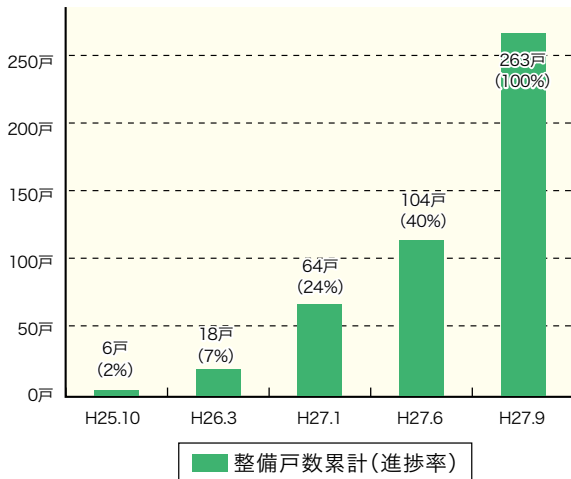
(鎌ヶ崎・光岸地地区) 平成30年3月に宅地はすべて使用が可能となり、平成30年度は公園の整備等を行いました。令和2年度は、未完了箇所の公園整備を行います。

(田老地区) 平成28年3月までに宅地はすべて使用が可能となり、平成28年度は公園整備等、平成30年度は区画道路整備等、令和元年度は防潮堤接続部の道路整備を行いました。

防災集団移転促進事業の進捗状況

本事業による5地区の宅地は、平成27年9月までにすべて完成しました。引き続き、移転される方への建設補助、移転補助を行っています。

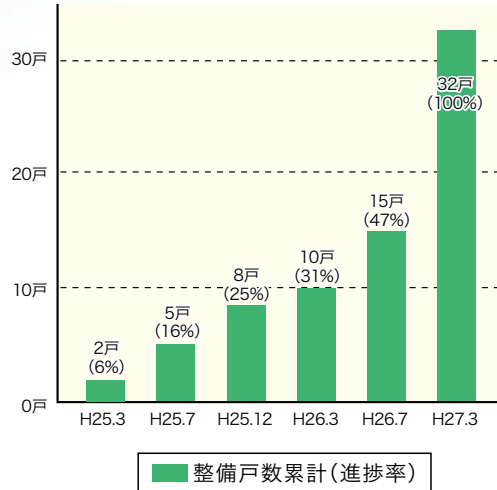
防災集団移転促進事業の進捗状況



漁業集落防災機能強化事業の進捗状況

本事業による7地区の宅地は、平成27年3月までにすべて完成しました。また、水産施設用地の整備を行う田老野原地区については、平成29年10月に完成、集落道の整備を行う女遊戸地区は、平成30年11月に完成しました。(地区別の現況は、P19参照)

漁業集落防災機能強化事業の進捗状況

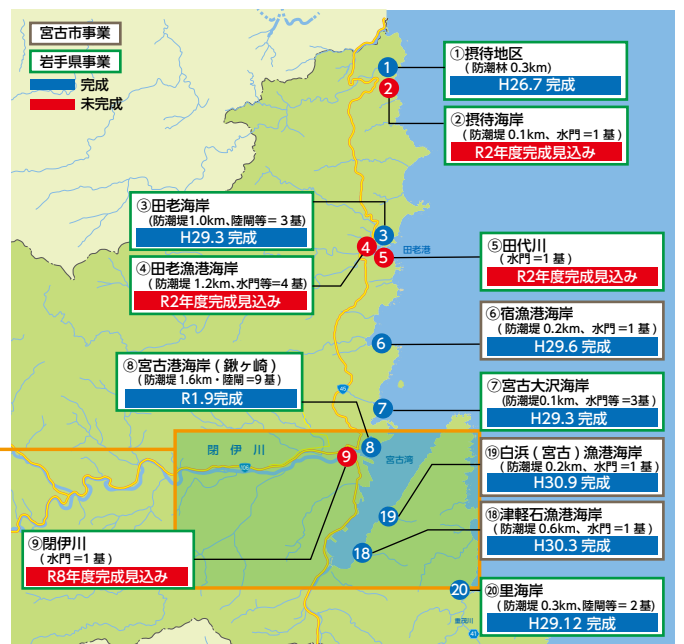
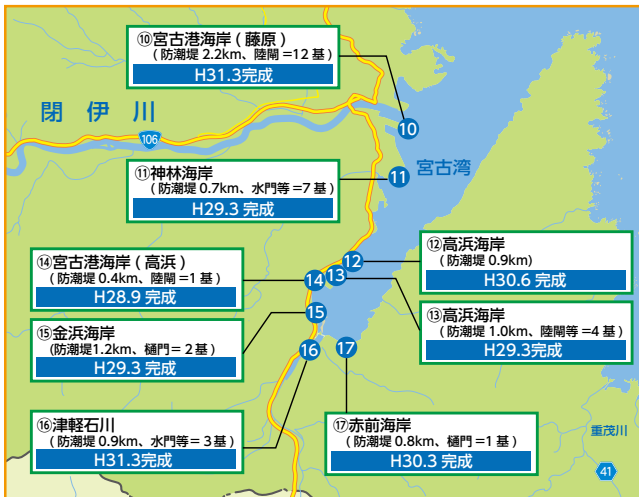


津波復興拠点整備事業の進捗状況

中心市街地地区及び津軽石地区の2地区で事業を行い、津軽石地区では、地域活動と防災の新たな拠点として被災公共施設3施設(保育所、公民館兼出張所及び消防屯所)を集約し、平成28年4月に供用開始しました。(中心市街地地区についてはP16参照)

津波対策施設整備の進捗状況

津波対策施設のうち、防潮堤、水門及び防潮林の整備の進捗状況は、図のとおりです。



□上下水道の復旧・整備の取り組み状況

これまでに各地区の被災した上下水道施設の復旧・復興工事を行ってきました。平成29年度には新川町・藤原地区の浸水対策のためのポンプ場整備に着手しており、令和2年度中完成の予定です。



建設工事が進む藤原雨水ポンプ場
(令和2年1月)

□河川復旧

被災した21箇所の河川については、これまでに20箇所が復旧し、令和3年3月の完了を見込んでいます。

■災害に強い交通ネットワークの形成

□高規格幹線道路等整備促進のための取り組み

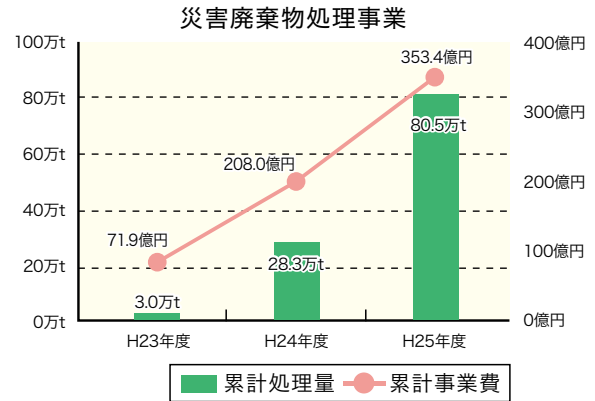
国及び県による復興道路・復興支援道路事業の促進のため、地元との調整などへの協力を行っています。現在着工中の復興道路・復興支援道路は令和2年度内に全線供用開始の見通しとなっています。市道北部環状2号線の近内～山口間は、令和元年11月30日に供用を開始しました。(路線別の現況はP19、道路交通網はP18参照)



北部環状線が全線開通
(令和元年11月)

□災害廃棄物処理

災害廃棄物の適正処理を実施し、平成25年度末までにすべての処理が完了しました。



□市内幹線道路・生活関連道路の復旧・整備

被災した39箇所の道路については、これまでに37箇所が復旧しました。また、復興関連の市道9路線の整備を行っており、平成29年度までに5路線(釜ヶ沢東線、駒形1号線、金浜6号線及び赤前上下線、新田平乙部地区道路)が完了しました。令和元年度に1路線(磯鶏金浜線金浜工区)が完了し、残りの3路線(河南高浜線、高浜地区道路及び荒巻笹見内地区道路)については、令和2年度内の完了に向け、事業を進めています。

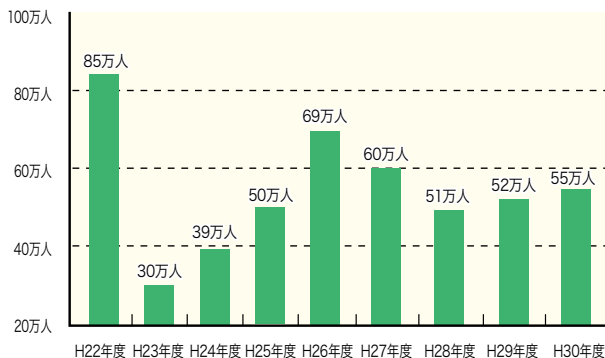


整備が進む河南高浜線
(令和元年7月)

□公共交通の復旧と再生のための取り組み

三陸鉄道は、平成26年4月6日から全線で運転を再開しています。JR山田線(宮古-釜石間)は、平成31年3月にJR東日本から三陸鉄道に経営移管され、平成31年3月にリアス線として運行開始しました。市内路線バスは、平成23年4月には震災前の運行レベルにほぼ回復し、復興後の新しいまちの形に合わせた路線の見直しを進めています。

三陸鉄道の利用者数の推移



全線開通した三陸鉄道リアス線
(平成31年3月)



■地域防災力の向上

□津波避難路等の整備

宮古市都市防災総合推進事業計画を策定し、整備を進めています。令和元年9月までに、石浜地区、姉吉地区の避難路が完成しました。また、現在4地区（千鶏北地区・女遊戸地区・赤前地区・藤の川地区）の避難路整備に着手しており、令和2年中の完成を予定しています。

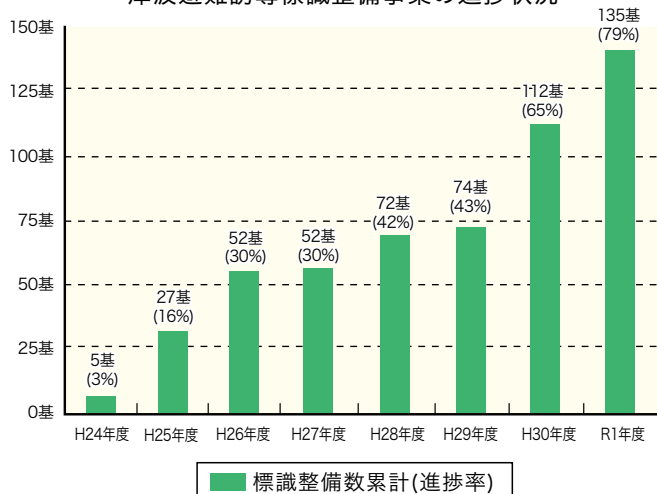


完成した石浜地区の津波避難路(令和元年6月)

□津波避難誘導標識の整備

令和2年1月までに、計画している171基のうち、135基の設置が完了しました。

津波避難誘導標識整備事業の進捗状況



□津波浸水表示板の整備

平成28年度までに、計画した65箇所すべての設置が完了しました。

□消防力向上のための取り組み

消防ポンプ車及び小型動力ポンプ積載車は平成23年度にすべて復旧しました。また、消防屯所は、平成29年度までにすべて復旧しました。

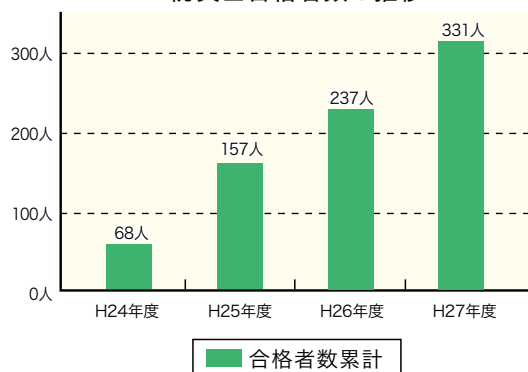


第30分団屯所及び格納されている消防ポンプ車 (平成28年3月完成)

□地域防災力向上促進のための取り組み

地域防災のリーダー育成のため、平成24年度から平成27年度まで防災士養成講座を開催し、331人が防災士に合格しました。引き続き、スキルアップのための普通救命セミナーを開催しています。

防災士合格者数の推移



■災害記憶の後世への継承

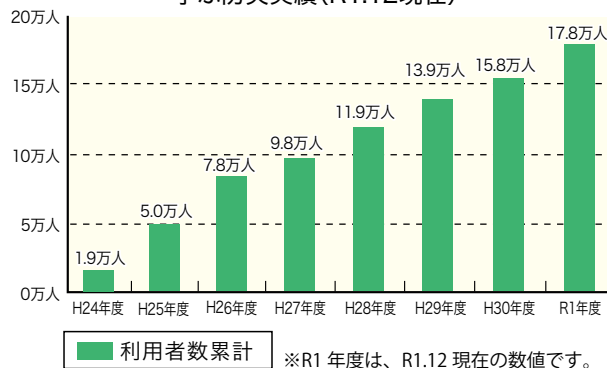
□震災資料の整理と震災記録の作成

平成25年度に『東日本大震災宮古市の記録』第1巻(津波史編)、平成28年度に被災体験や証言を収録した第2巻(復興・防災編/記憶伝承編)を刊行しました。

□津波遺構たろう観光ホテルの活用

平成24年度から、田老地区で災害の記憶を伝える防災学習ツアー「学ぶ防災」を行っており、一般旅行をはじめ、教育旅行や企業研修等で活用され、多くの方が来訪しています。平成28年5月には、これまでの利用者が10万人に達し、記念セレモニーを開催しました。令和2年1月には、エレベーター棟が完成しました。

学ぶ防災実績(R1.12現在)



※R1年度は、R1.12現在の数値です。

エレベーター棟が完成し、ますます活用が見込まれる津波遺構たろう観光ホテル (令和2年1月)



三陸ジオパーク

三陸ジオパークは、平成25年9月に日本ジオパークとして認定されました。エリアは、青森県八戸市から宮城県の気仙沼市までの3県16市町村で、その海岸線は約300kmにもおよぶ日本最大のジオパークです。

三陸ジオパークには、118か所のジオサイトがあり、そのうち宮古市には、浄土ヶ浜をはじめとする17か所のジオサイトがあります。



宮古市内のジオサイト



①田老の防潮堤



④津波記念碑



⑥震災メモリアルパーク中の浜



⑩崎山貝塚



⑪浄土ヶ浜



③津波到達点



⑤三王岩



⑦潮吹穴



⑫鮎ヶ崎



⑮腹帯の混在岩



⑯薬師川溪流の古生界



②津波遺構たろう観光ホテル



⑧日出島



⑬十二神山



⑨ローソク岩



⑭黒森神社・黒森神楽



⑰早池峰山

スマートコミュニティ

再生可能エネルギーを“地産地消”で無駄なく有効に活用するため、官民連携により取り組んでいます。CEMS（地域エネルギー管理システム）を活用し、需要と供給のバランスがとれたエネルギー利用を目指します。

<エネルギーの創出>

●メガソーラー

H27.9.15～ 津軽石発電所（1,607kw/約2.5ha）

H27.10.15～ 田老発電所（2,367kw/約3.4ha）

【特色】津波浸水により住家等の建築を制限された区域に設置

<エネルギーの供給>

●地域新電力

H28.9.1～ 地産電力（津軽石発電所）供給開始

公共施設や民間施設など194施設へ供給中

（R1.12.31現在）

<エネルギーの有効活用>

●BEMS（ビル用省エネ機器）

H28.3.30～ 公共施設2カ所に設置・運用

H30.4.1～ 公共施設5カ所に設置・運用

●カーシェアリング

H26.4.1～ 自動車共同利用サービス開始

【特色】災害時は避難所などで非常用電源として活用

●給電設備

H29.2.1～ 道の駅（みやこ・たろう・やまびこ館）で電気

自動車の急速充電サービス開始

【特色】地産電力を供給

※引き続き、スマートコミュニティの取り組みを進めています。



田老発電所



津軽石発電所

5 おもな復興事業の現況

区分	事業主体	路線・箇所名等	事業概要	現況
復興道路	国	1 三陸沿岸道路	田老岩泉道路 (田老北～岩泉)	H30.3 供用開始
			宮古田老道路 (宮古中央～田老北)	田老真崎海岸IC～田老北IC H30.3 供用開始 宮古中央IC～田老真崎海岸IC R2年度末までに供用見込み
			宮古道路 (宮古中央インター線)	H25.3 宮古中央インター線 (千徳大橋)供用開始
			山田宮古道路 (山田～宮古南)	H29.11 供用開始
	2 宮古盛岡横断道路	宮古箱石道路 (宮古～箱石)	川井～箱石地区 R2年度末供用見込み 下川井地区 R元年度末供用見込み 暮目～腹帯地区 R2年度末供用見込み 藤原～宮古中央IC R2年度末までに供用見込み	
		平津戸松草道路 (平津戸・岩井～松草)	R2年度末供用見込み	
		区界道路 (区界～築川)	R2年内供用見込み	
		宮古西道路	宮古中央IC～宮古根市IC H31.3 供用開始	
復興支援道路	県	3 国道 340 号	小国	H25.11 供用開始
			和井内道路	H30.3 供用開始
			立丸峠	H30.11 供用開始
			押角峠	R2年度末供用見込み
復興関連道路	県	4 重茂半島線	白浜～堀内	H27.3 供用開始
		5 津軽石停車場線	津軽石	H31.3 供用開始
		6 市道 北部環状線	山口～佐原 近内～山口	H28.12 供用開始 R1.11 供用開始
土地区画整理	市	1 田老地区	区域面積：19.0ha 対象戸数：220戸 (民180戸・公40戸)	H28.3 完成
		2 欽ヶ崎・光岸地地区	区域面積：23.8ha 対象戸数：270戸 (民230戸・公40戸)	H30.3 完成
防災集団移転	市	1 田老地区	対象戸数：230戸 (民159戸・公71戸)	H27.9 完成
		2 崎山地区(大付)	対象戸数：30戸 (民6戸・公24戸)	H25.12 完成
		3 高浜・金浜地区	対象戸数：52戸 (民40戸・公12戸)	H27.6 完成
		4 法之脇地区(津軽石)	対象戸数：12戸 (民12戸)	H26.3 完成
		5 赤前地区	対象戸数：46戸 (民46戸)	H27.1 完成
津波復興拠点	市	1 津軽石地区	区域面積：約1.2ha	H29.2 完成
		2 中心市街地地区	区域面積：約1.6ha	H30.10 完成
漁業集落防災機能強化	市	1 摂待地区	対象戸数：3戸 (民3戸)	H25.7 完成
		2 堀内地区	対象戸数：2戸 (民2戸)	H26.3 完成
		3 浦の沢・追切地区	対象戸数：2戸 (民2戸)	H25.3 完成
		4 音部地区	対象戸数：3戸 (民3戸)	H26.7 完成
		5 重茂地区	対象戸数：21戸 (民17戸・公4戸)	H27.3 完成
		6 千鷲地区	対象戸数：3戸 (民3戸)	H25.12 完成
		7 女遊戸地区	集落道他	H30.11 完成
		8 石浜地区	対象戸数：2戸 (民2戸)	H26.7 完成
		9 田老野原地区	集落道、用地造成	H29.10 完成

区分	事業主体	路線・箇所名等	事業概要	現況
まちづくり連携道路	県	1 崎山宮古線	欽ヶ崎	H29.3 供用開始
		2 重茂半島線	熊の平～堀内	H31.3 供用開始
		3 重茂半島線	堀内～津軽石	H31.3 供用開始
		4 重茂半島線	里	R2年度末供用見込み
		5 重茂半島線	千鷲	H30.3 供用開始
		6 重茂半島線	石浜	R2年内供用見込み
		7 重茂半島線	川代	H29.12 供用開始
災害公営住宅	市	1-① 田老三王Ⅰ	戸数 36戸 木造2階	H27.10 完成
		1-② 田老三王Ⅱ	戸数 29戸 木造1階・木造2階	H28.3 完成
		1-③ 田老三王Ⅲ	戸数 6戸 木造1階	H28.3 完成
		2 田老	戸数 40戸 RC造5階	H27.11 完成
		3 崎山	戸数 24戸 RC造4階	H27.3 完成
		4 日の出町	戸数 26戸 木造2階	H27.4 完成
		5 港町	戸数 40戸 RC造5階	H27.12 完成
		6 和見町	戸数 23戸 RC造5階	H27.3 完成
		7 黒田町	戸数 24戸 RC造5階	H27.8 完成
		8 山口	戸数 23戸 RC造4階	H29.1 完成
		9-① 近内Ⅰ	戸数 40戸 RC造5階	H26.3 完成
		9-② 近内Ⅱ	戸数 40戸 RC造5階	H27.3 完成
		10 西ヶ丘	戸数 24戸 RC造4階	H27.4 完成
		11 高浜	戸数 12戸 木造2階	H26.4 完成
12 金浜	戸数 12戸 木造2階	H27.11 完成		
13 赤前	戸数 14戸 木造2階	H26.11 完成		
14 重茂	戸数 4戸 木造1階	H27.6 完成		
市	県(市営)	1 本町	戸数 34戸 RC造8階	H27.9 完成
		2-① 西町1号棟	戸数 30戸 RC造5階	H27.6 完成
		2-② 西町2号棟	戸数 23戸 RC造4階	H27.6 完成
		3 津軽石	戸数 35戸 RC造5階	H27.7 完成
		4 上村	戸数 24戸 RC造4階	H28.3 完成
		1 上鼻	戸数 24戸 RC造4階	H27.7 完成
		2 八木沢	戸数 42戸 RC造5階	H27.10 完成
市	県(県営)	3 佐原	戸数 50戸 RC造5階	H27.2 完成
		4 磯鷲	戸数 30戸 S造2階	H27.3 完成
		5 宮町	戸数 20戸 S造3階	H27.3 完成
		6 鴨崎町	戸数 20戸 S造3階	H27.9 完成
		7 実田	戸数 17戸 S造3階	H27.7 完成

※民：民間宅地 公：公営住宅 ※スケジュールは、令和2年3月1日現在における計画であり、今後、変更する可能性があります。